



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 トレックス・セミコンダクター株式会社 上場取引所 東
コード番号 6616 URL <https://www.torex.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 木村 岳史
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経営企画本部 本部 (氏名) 前川 貴 TEL 03-6222-2875
長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

百万円未満切捨て

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	18,226	△0.4	695	—	757	—	580	—
2025年3月期第3四半期	18,305	△6.4	△104	—	△173	—	△234	—

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 985百万円（－％） 2025年3月期第3四半期 39百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	54.73	—
2025年3月期第3四半期	△21.30	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第3四半期	35,298	17,597	49.9	1,661.34
2025年3月期	33,607	17,400	51.8	1,616.67

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 17,597百万円 2025年3月期 17,400百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	28.00	—	28.00	56.00
2026年3月期	—	28.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	28.00	56.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	25,000	4.4	800	—	800	—	550	—	51.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期3Q	11,554,200株	2025年3月期	11,554,200株
2026年3月期3Q	961,863株	2025年3月期	790,963株
2026年3月期3Q	10,601,841株	2025年3月期3Q	11,005,852株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、地政学的リスクの継続や貿易政策を巡る不確実性などから先行き不透明な状況が続いているものの、米国を中心に底堅さを維持して推移しました。一方で、米国の関税政策をはじめとする通商環境の変化は、引き続き世界経済全体に影響を及ぼしており、予断を許さない状況が続いております。日本経済においては、物価上昇の影響が残るものの、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調を維持しました。

当社グループが属するエレクトロニクス市場におきましては、生成AI向けデータサーバー関連需要が引き続き堅調に推移しましたが、自動車市場では、電気自動車（EV）の成長鈍化に加え、需要低迷に伴う生産調整の影響が継続しました。また、産業機器市場においては、用途・地域により濃淡があるものの、底堅く推移しました。

このような環境のなかで、当社グループは、経営理念にある「市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献する」ため、電気機器の小型化・省電力化に「電源」の観点から取組み、収益力の強化と持続的な成長の実現に向けて、以下の諸施策を継続的に推進してまいりました。

- ・製品企画・開発部門において、マーケットインの発想に立脚した、差別化のできる高付加価値な汎用製品、及びターゲット市場として注力する車載機器・産業機器に向け、特長ある製品を迅速に市場へ投入していくため、企画・開発活動を進めました。
- ・顧客訪問に加えオンラインも活用しながら、各地域に密着した営業活動を継続、FAE（フィールド・アプリケーション・エンジニア）を活用することで、顧客の要望や製品企画への迅速かつ柔軟な対応と営業基盤の維持に努めました。
- ・品質向上とコスト削減を両立させるべく、製品企画段階からのコスト分析の徹底、生産計画の効率化を進めるとともに、協力会社や製造子会社との協力体制を深め、同業他社に比して競争力のある製造コストと安定供給、納期対応の実現を進めました。
- ・PANJIT INTERNATIONAL INC. 社との間で、業務提携を目的として、当社子会社TOREX VIETNAM SEMICONDUCTOR CO., LTD. の持分の95%を譲渡する契約を締結し、譲渡に必要な各種手続きを進めております。
- ・グループ収益の最大化につなげるため、フェニテックセミコンダクター株式会社とのシナジー効果を高め、パワー半導体ビジネスへの取り組みなど、共同プロジェクトを推進しました。
- ・フェニテックセミコンダクター株式会社においては、製品の長期・安定供給体制と競争力のある製品づくり及び生産性向上のための各種活動を推進しました。
- ・トレックス・セミコンダクター、フェニテックセミコンダクターの両社において、業務改善による経費抑制の取組みを進めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高182億26百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益6億95百万円（前年同期は営業損失1億4百万円）、経常利益7億57百万円（前年同期は経常損失1億73百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億80百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億34百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

当第3四半期連結累計期間における日本事業は、一般民生機器向けの販売が減少しましたが、産業機器分野向けの販売が増加したことにより、売上高は127億47百万円（前年同期比0.2%減）、セグメント利益は5億44百万円（前年同期はセグメント損失2億64百万円）となりました。

②アジア

当第3四半期連結累計期間におけるアジア事業は、モジュール機器分野向けの販売が減少しましたが、産業機器分野向けの販売が増加したことにより、売上高は40億87百万円（前年同期比3.6%減）、セグメント利益は59百万円（前年同期比19.2%増）となりました。

③欧州

当第3四半期連結累計期間における欧州事業は、産業機器分野向けの販売が減少しましたが、医療機器分野向けの販売が増加したことにより、売上高は8億95百万円（前年同期比2.0%減）、セグメント利益は72百万円（前年同期比52.8%増）となりました。

④北米

当第3四半期連結累計期間における北米事業は、主に産業機器向けの売上が増加したことにより、売上高は4億96百万円（前年同期比28.3%増）、セグメント利益は35百万円（前年同期はセグメント利益2百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は220億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億82百万円増加しました。増加の主な要因は、運転資金を主な使用目的として追加借入を行ったことなどにより現金及び預金が7億87百万円増加し、受取手形及び売掛金が6億97百万円増加し、また、積極的に在庫の解消に努めた結果などで棚卸資産が2億27百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は132億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億7百万円増加いたしました。増加の主な要因は、当社及び当社子会社が保有する投資有価証券の株価が上昇したことなどにより「投資その他の資産」の「その他」に含まれる投資有価証券が5億42百万円増加したことなどによるものであります。この結果、総資産が352億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億90百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は78億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億94百万円増加いたしました。1年内に返済が到来する長期借入金を固定負債から振り替えたことなどで1年内返済予定の長期借入金が5億66百万円増加したこと、また当社子会社において生産体制を強化すべく設備の更新を行ったことなどにより「流動負債」の「その他」に含まれる未払金が2億26百万円増加したことなどによるものであります。固定負債は98億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億98百万円増加いたしました。増加の主な要因は、運転資金を主な使用目的として追加借入を行った結果長期借入金が3億56百万円増加したこと、本社移転により新オフィスの原状回復費にかかる税効果会計の計上などにより「固定負債」の「その他」に含まれる繰延税金負債が1億41百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計が177億円となり、前連結会計年度末に比べ14億93百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は175億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億96百万円増加いたしました。増加の主な要因は、自己株式の取得により自己株式が1億85百万円増加したものの、株価の上昇などによりその他有価証券評価差額金が3億70百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は49.9%（前連結会計年度末は51.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績見通しにつきまして、2025年11月14日時点においては、経費抑制の取組みを前倒しで実行できたことから営業利益以下の各段階利益を上方修正した一方、売上高につきましては、サプライチェーンにおける在庫調整が解消に向かい新たな動きが見られ始めているもののその回復力は依然として限定的であると判断し下方修正としておりました。

しかしながら、売上高に関し、足元においてトレックスおよびフェニテックの両社において新たな受注につながる動きが強まっており、今後の売上高の回復がより確実なものになってきたと判断し、2026年2月9日に「2026年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」を開示いたしました。当該修正の背景および詳細につきましては、同日公表の開示資料をご参照ください。

なお、2026年2月9日に公表した通期業績予想からの変更はありません。

上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,429,457	10,217,084
受取手形及び売掛金	4,084,734	4,782,491
棚卸資産	6,486,135	6,259,031
その他	839,744	769,604
貸倒引当金	△3,958	△9,382
流動資産合計	20,836,112	22,018,829
固定資産		
有形固定資産	9,155,201	9,068,748
無形固定資産	714,179	941,274
投資その他の資産		
その他	2,907,423	3,275,141
貸倒引当金	△4,917	△5,751
投資その他の資産合計	2,902,505	3,269,390
固定資産合計	12,771,885	13,279,413
資産合計	33,607,998	35,298,243
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	701,368	834,173
短期借入金	1,900,000	1,900,000
1年内償還予定の社債	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	2,479,936	3,046,736
未払法人税等	97,246	103,758
契約負債	5,443	9,759
賞与引当金	437,324	107,065
その他	1,332,898	1,847,677
流動負債合計	7,054,217	7,849,171
固定負債		
長期借入金	8,332,262	8,688,310
退職給付に係る負債	400,707	402,489
株式給付引当金	106,860	133,847
その他	313,318	626,920
固定負債合計	9,153,148	9,851,566
負債合計	16,207,366	17,700,738
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,967,934	2,967,934
資本剰余金	8,420,205	8,420,205
利益剰余金	5,523,084	5,499,426
自己株式	△999,102	△1,184,227
株主資本合計	15,912,121	15,703,338
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	280,420	650,523
為替換算調整勘定	873,149	933,937
退職給付に係る調整累計額	334,940	309,705
その他の包括利益累計額合計	1,488,510	1,894,166
純資産合計	17,400,632	17,597,504
負債純資産合計	33,607,998	35,298,243

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	18,305,488	18,226,722
売上原価	13,991,689	13,654,560
売上総利益	4,313,798	4,572,161
販売費及び一般管理費	4,417,812	3,876,424
営業利益又は営業損失(△)	△104,013	695,736
営業外収益		
受取利息及び配当金	124,695	79,827
為替差益	—	48,985
ロイヤリティ収入	795	1,042
受取賃貸料	35,366	23,923
その他	53,943	43,528
営業外収益合計	214,800	197,307
営業外費用		
支払利息	125,041	129,395
為替差損	150,972	—
支払手数料	6,000	—
その他	1,901	5,835
営業外費用合計	283,915	135,230
経常利益又は経常損失(△)	△173,128	757,813
特別利益		
固定資産売却益	6,739	—
投資有価証券売却益	48,970	—
補助金収入	7,559	104,696
受取保険金	7,652	9,810
保険解約返戻金	12,169	—
特別利益合計	83,091	114,506
特別損失		
固定資産除売却損	10,667	11,695
災害による損失	10,919	9,116
本社移転費用	—	77,299
特別損失合計	21,586	98,111
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△111,624	774,208
法人税等	122,893	193,903
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△234,518	580,305
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△234,518	580,305

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△234,518	580,305
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	163,757	370,102
為替換算調整勘定	134,582	60,788
退職給付に係る調整額	△23,959	△25,235
その他の包括利益合計	274,380	405,655
四半期包括利益	39,862	985,961
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,862	985,961

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,760,322千円	1,473,396千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2) 顧客との契約から生じる収益	12,766,993	4,238,443	913,413	386,636	18,305,488	—	18,305,488
外部顧客への売上高	12,766,993	4,238,443	913,413	386,636	18,305,488	—	18,305,488
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,743,618	267,686	25,088	23,125	5,059,519	△5,059,519	—
計	17,510,612	4,506,130	938,502	409,761	23,365,007	△5,059,519	18,305,488
セグメント利益又は損失(△)	△264,411	49,721	47,695	2,725	△164,270	60,256	△104,013

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。調整額60,256千円には、セグメント間取引消去60,256千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位: 千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	13,396,055	2,953,246	1,299,310	656,875	18,305,488

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2) 顧客との契約から生じる収益	12,747,799	4,087,738	895,132	496,051	18,226,722	—	18,226,722
外部顧客への売上高	12,747,799	4,087,738	895,132	496,051	18,226,722	—	18,226,722
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,639,711	301,827	28,724	18,821	4,989,084	△4,989,084	—
計	17,387,511	4,389,565	923,857	514,873	23,215,806	△4,989,084	18,226,722
セグメント利益	544,357	59,248	72,893	35,976	712,476	△16,739	695,736

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額△16,739千円には、セグメント間取引消去△16,739千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位: 千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	13,377,419	2,841,752	1,331,254	676,296	18,226,722